

スイッチング・レギュレーター仕様書

型式名

E S S 1 5 - 2 4

図面番号

M仕-07239

初版発行年月日

2008年 10月 16日

変更履歴

変更	変更内容	日付／担当
0 1	1. 入力特性(3)項 「※下記ディレーティング条件で、AC 50[V]～…」の注意書きと、ディレーティングカーブ(AC入力時,DC入力時)を追記。	2008/11/17 寺園
0 2	8. 安全規格項 2nd ed.から1st ed.～改訂	2009/01/06 寺園
0 3	8. 安全規格項 認定規格「UL508 17th ed.」、「CAN/CSA C22.2 No.107.1-01」を追記	2009/01/22 寺園
0 4	1. 入力特性項 安全規格取得の許容入力範囲上限を254[V] ⇒ 264[V] 8. 安全規格項 UL508の認定条件を追記。「※UL508は以下の条件で…設計となっています。」	2009/03/04 寺園
0 5	11. 外観・寸法・質量 (3)項 D I Nレールタイプ 400[g] → 350[g] D I Nレールタイプ(オプション)アタッチメント寸法図変更	2009/04/23 高野

作成	検印	承認
		



POWER SOURCE

イタ-電機工業株式会社

スイッチング・レギュレーター 仕様書

M仕-07239

本仕様書は、型式 ESS15-24 に適用する。

(指定なき項目は $T_a = 25 [^{\circ}\text{C}]$ とする)

1. 入力特性

(1) 定格入力電圧

AC 100~240 [V]

(2) 定格入力電流

0.4~0.2 [A]

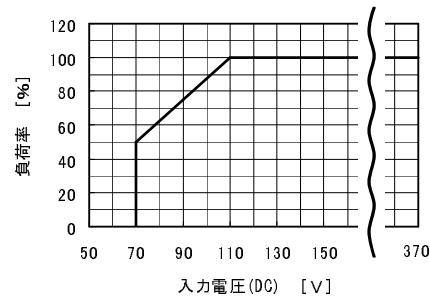
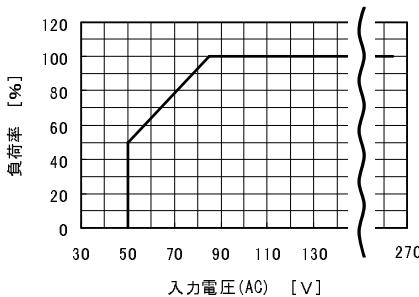
(3) 許容入力電圧範囲

AC 85 ~ 264 [V]

DC 110 ~ 370 [V]

※ AC 90 ~ 264 [V] の範囲で安全規格を取得しています。

※ 下記ディレーティング条件で、AC 50 [V] ~ 又は、DC 70 [V] ~ の使用が可能です。



(4) 定格入力周波数

50 / 60 [Hz]

(5) 許容入力周波数範囲

47 ~ 440 [Hz]

(6) 相数

1 [φ]

(7) 入力突入電流

AC 100 [V] 入力時 1.4 [A] Typ.

AC 200 [V] 入力時 2.8 [A] Typ.

※コールドスタート時。

サーミスターにて突入抑制をしている為、稼働中の入力再投入に対しては、上記規定を満足しません。

AC 100 [V] 入力時 84.5 [%] Typ.

AC 200 [V] 入力時 86.5 [%] Typ.

AC 100 [V] 入力時 0.60 Typ.

AC 200 [V] 入力時 0.48 Typ.

2. 出力特性

(1) 定格出力電圧・電流

+ 24 [V] 0.7 [A]

(2) 出力電圧可変範囲

+ 21.6 ~ 26.4 [V]

(但し、許容入力電圧範囲での無負荷時)

150 (0~50°C) [mV p-p] Max.

180 (-10~0°C) [mV p-p] Max.

(DC~100MHz)

出力端子から電線を 150 [mm] 引き出した先に 100 [μF] の電解コンデンサ及び、0.1 [μF] のフィルムコンデンサを接続し、100 [MHz] 帯域のシンクロスコープにより、ベーオネットプローブを使用し測定する。

※低漏洩電流タイプ（オプション）の、出力リップル・ノイズは2倍になります。

(4) 定電圧精度

9.6 [mV] Max.

(許容入力電圧範囲に対して)

15.0 [mV] Max.

(許容入力電圧範囲で負荷を零から定格まで変化させた時)

28.8 [mV p-p] Max.

(但し、-10~50°Cに於いて)

9.6 [mV] Max.

(但し、電源投入後 1 [H] 経過後から 8 [H] まで)

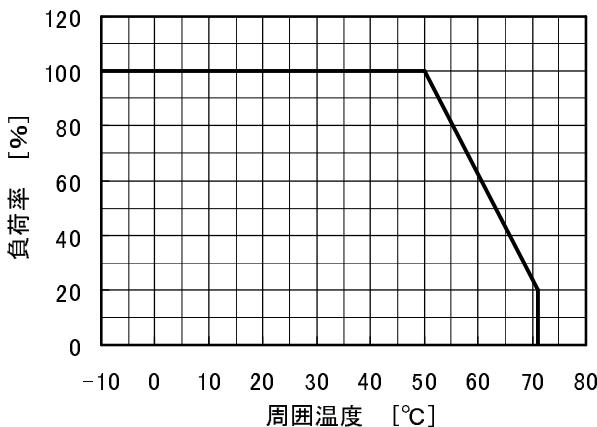
(5) 出力保持時間	定格入出力条件に於いて	2 0	[m s] T y p.
(6) 立ち上がり時間	A C 1 0 0 [V] 入力、定格出力に於いて	3 5 0	[m s] T y p.

3. 付属機能

(1) 過電流保護	自動復帰 0. 7 3 [A] 以上で動作。 ※ 1分を超える過負荷及び、短絡状態は避けてください。
(2) 過電圧保護	出力遮断 3 0 [V] 以上で動作。 (3 7 [V] M a x.) 出力遮断後 3分以上経過の後、入力再投入にて復帰します。
(3) リモート・センシング	不可能
(4) リモート・コントロール	不可能
(5) 直列運転	可能
(6) 並列運転	不可能 (但しダイオードORによる冗長運転は可)

4. 一般条件

(1) 動作周囲温度 自然対流において (下記ディレーティング表参照) -10 ~ 71 [°C]
 ※ 本製品は、下記ディレーティング条件で安全規格認定されております。
 最終製品に安全規格認定を予定されている場合には、下記ディレーティングを
 目安にご使用ください。尚、この場合には、トランジスト温度上昇値に規定があります。
 温度上昇値は本製品が実装されている状態により異なりますので、実使用状態にて実測し、
 規定内であることをご確認ください。



(2) 動作周囲湿度	2 0 ~ 9 0	[%]	R H	但し、結露無き事。
(3) 保存湿度	- 3 0 ~ 8 5	[°C]		但し、熱衝撃は不可。
(4) 保存湿度	1 0 ~ 9 5	[%]	R H	但し、結露無き事。
(5) 絶縁耐圧	一次～二次間	A C 3 0 0 0	[V]	1 分間
	一次～ケース間	A C 2 5 0 0	[V]	1 分間
	二次～ケース間	A C 1 0 0 0	[V]	1 分間
	感應電流	各 1 0	[mA]	
(6) 絶縁抵抗	一次～二次～ケース間	各 1 0 0	[MΩ]	M i n.
	但し、D C 5 0 0 [V] 印加時			
(7) 耐振性	5 ~ 1 0 [H z]	全振幅	1 0 [mm]	
	1 0 ~ 5 5 [H z]	加速度	1 9 . 6 [m / s ²]	
	なるX, Y, Z 方向の振動に対し耐え得る。			
(8) 耐衝撃性	衝撃力		1 9 6	[m / s ²]

5. 漏洩電流

許容入力電圧範囲、定格入力周波数に於いて 0. 5 [mA] M a x.
 ※低漏洩電流タイプ (オプション) 0. 1 5 [mA] M a x.

6. 雜音端子電圧

V C C I	C l a s s	B	準拠
F C C Part15	C l a s s	B	準拠
E N 5 5 0 2 2	C l a s s	B	準拠
C I S P R 2 2	C l a s s	B	準拠

※低漏洩電流タイプ (オプション) は雑音端子電圧を規定しておりません。

7. 電源高調波規制

I E C 6 1 0 0 0 - 3 - 2

準拠

※力率改善回路なし

8. 安全規格	北米	: UL60950-1 1st ed. CAN/CSA C22.2 No. 60950-1-03 : UL508 17th ed. (端子台タイプのみ) CAN/CSA C22.2 No. 107.1-01 (端子台タイプのみ)	認定 認定 認定 認定 認定 認定
	欧州	: EN60950-1:2001+A11:2004	自己宣言
	C E マーキング	: EN60950-1:2001+A11:2004(低電圧指令)	
	日本	: 電気用品安全法省令第2項	準拠
※UL508は以下の条件で認定されています。（和文は参考訳です。英文が優先されます）			
1. Pollution Degree: 2			
2. Wiring connection of field wiring terminal			
• Input: Use minimum 75 degree C copper conductor only.			
• Terminal block tightening torque: 1.0 N·m max.			
3. Maximum surrounding air temperature rating is 50 degree C @ 100% load or 71 degree C @ 20% load.			
Caution: This electrical equipment for use in unclassified (ordinary) locations is intended to be installed in accordance with ANSI/NFPA 70, "National Electrical Code" and "Canadian Electrical Code".			
(参考和訳)			
1. 汚染度 : 2			
2. 現場配線端子の配線接続			
• 入力: 電線は定格 75 [°C] 以上の銅線のみを使用すること。			
• 端子台締め付けトルク: 1.0 [N·m] Max.			
3. 最大周囲温度定格は 100 [%] 負荷において 50 [°C]、20 [%] 負荷において 71 [°C]。			
注意: 本製品はANSI/NFPA 70 (米国電気規則及びカナダ電気規則) に基づき設置され使用されることを意図した設計となっています。			

9. その他

S E M I : F47-0200 (AC200V時のみ) 準拠

10. F G端子

本製品のF G端子は、主保護接地端子としては評価されていません。
従いまして、本製品のF G端子は、最終製品の主保護接地端子に接続せず、
その他の箇所に接地してください。

11. 外観・寸法・質量

(1) 外観	ケース・カバー付きタイプ 別紙参照
(2) 寸法	別紙参照
(3) 質量	200 [g] Max. ※DINレールタイプ (オプション) 350 [g] Max.

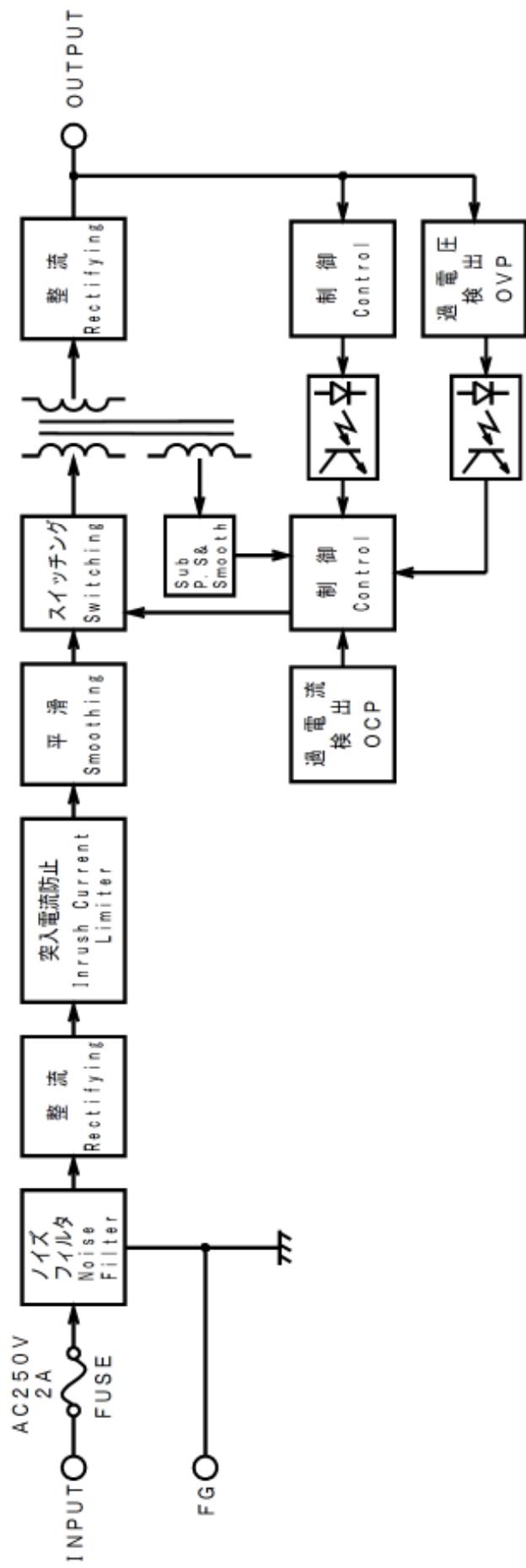
12. オプション型式名

製品規格名	オプション/記号		
	DIN レール/D	コネクタ/J	低漏洩電流/F
ESS15-24			
ESS15-24-F			○
ESS15-24-J		○	
ESS15-24-JF		○	○
ESS15-24-D	○		
ESS15-24-DF	○		○

※低漏洩電流/F

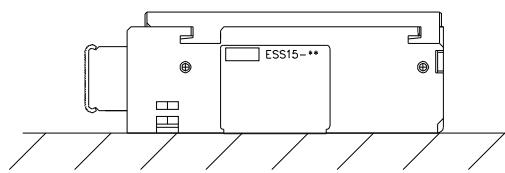
漏洩電流 0.15 [mA] Max.
リップル・ノイズ 2項. (3)の値より 2倍
雑音端子電圧 規定せず

13. ブロック図

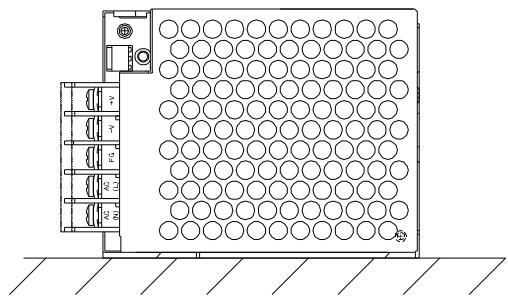


設置方法

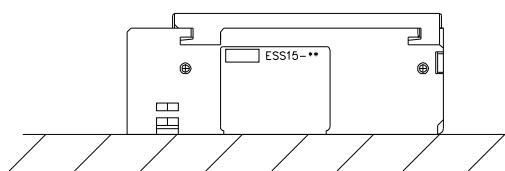
①平置き（端子台タイプ）



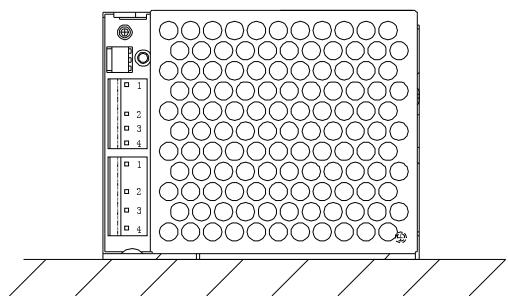
②縦置き（端子台タイプ）



③平置き（コネクタタイプ）

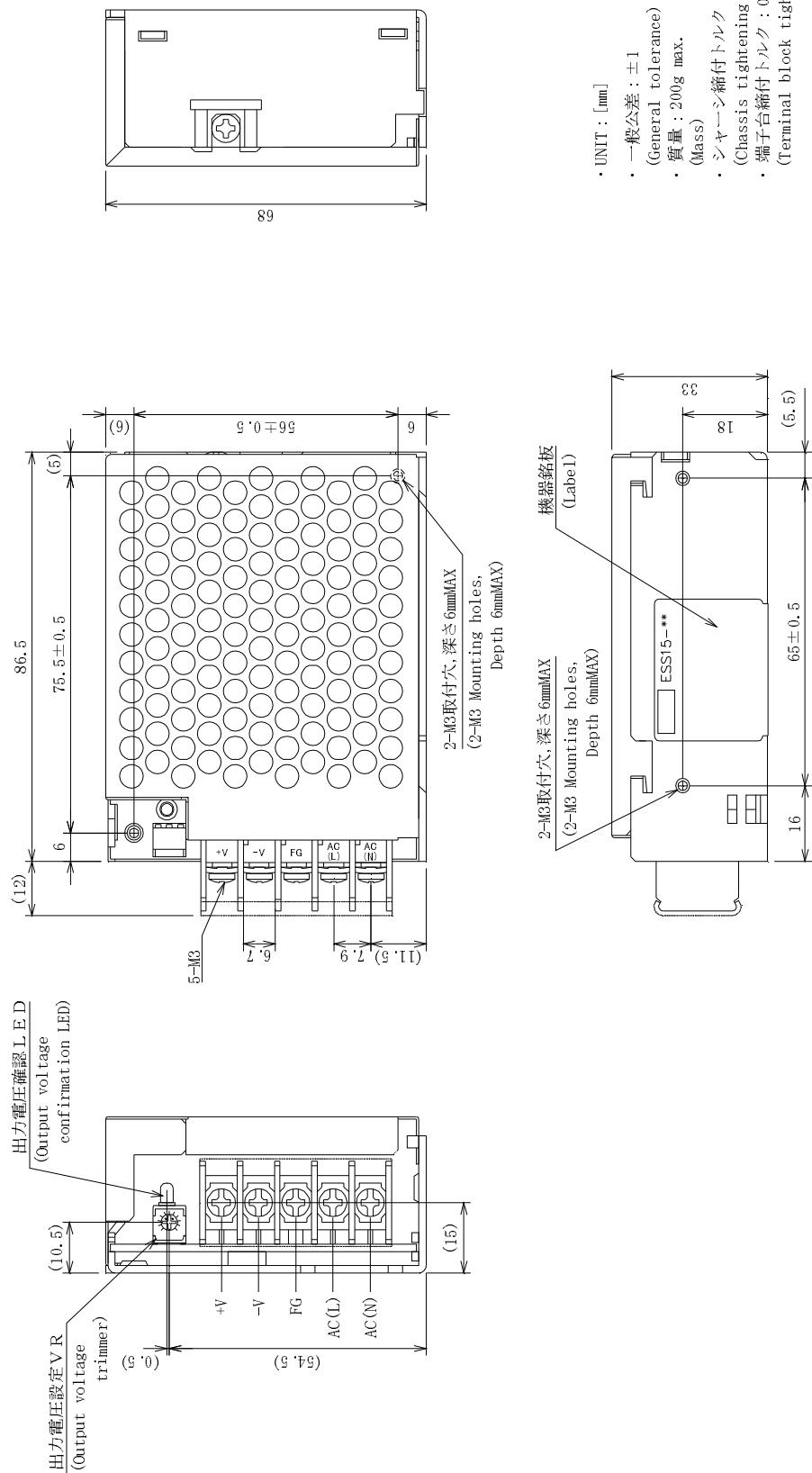


④縦置き（コネクタタイプ）



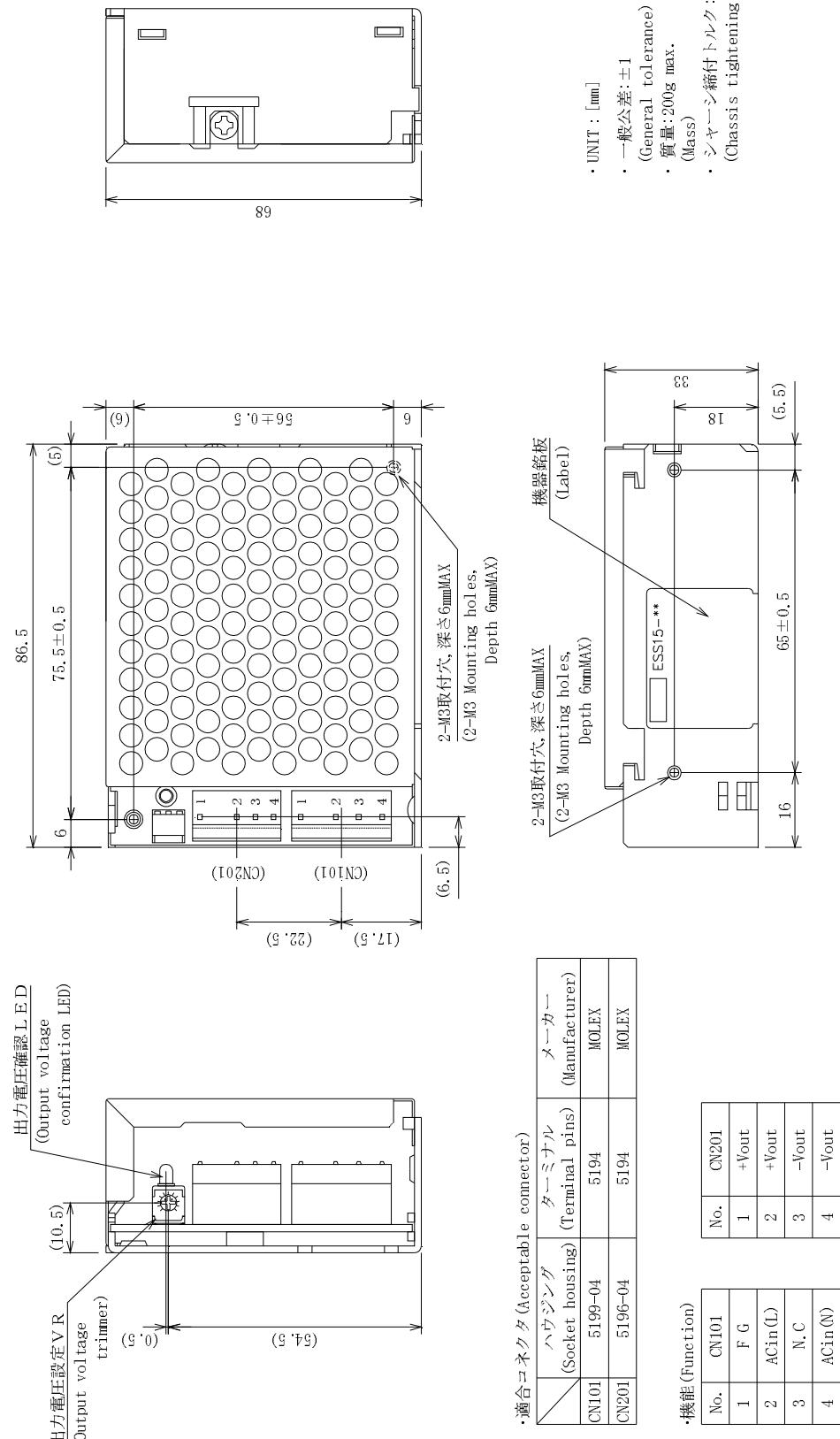
外観・寸法図

■入出力端子：端子台タイプ



外観・寸法図

■入出力端子：コネクタタイプ



DINレールタイプ（オプション）アタッチメント寸法図

